

第四十五回帝國議會
衆議院

狩獵法中改正法律案委員會會議錄(筆記)第一回

委員會成立

本委員ハ大正十一年三月九日議長ノ指名ヲ以テ左ノ通り選
定セラレタリ

松浦五兵衛君 山口 熊野君 鈴木 義隆君

岩本 平藏君 矢野 丑乙君 佐々木千秀君

本間 三郎君 富永孝太郎君 矢島 專平君

同月十一日午前十時委員長理事互選ノ爲各委員參集ス其ノ
氏名左ノ如シ

松浦五兵衛君 山口 熊野君 鈴木 義隆君

岩本 平藏君 矢野 丑乙君 佐々木千秀君

年長者山口熊野君投票管理者トナル

○山口投票管理者ハ委員長及理事ノ互選ヲ行フヘキ旨ヲ宣
告ス

○岩本委員ハ投票ヲ用キス委員長及理事ノ指名ヲ投票管理
者ニ任スヘシトノ意見ヲ提出ス

○山口投票管理者ハ岩本君ノ意見ニ異議ナキヲ認メ松浦五
兵衛君ヲ委員長ニ鈴木義隆君ヲ理事ニ指名ス

〔松浦五兵衛君委員長長席ニ着ク〕

○松浦委員長ハ就任ノ挨拶ヲ述ヘ散會ヲ宣告ス

于時午前十時五分

會議

大正十一年三月十四日午前十時三十分開議

出席委員左ノ如シ

理事 鈴木 義隆君

山口 熊野君 岩本 平藏君

佐々木千秀君 阿山葉勝作君

矢島 專平君

農商務書記官 石黒 忠篤君

農商務技師 月田藤三郎君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

○狩獵法中改正法律案

○鈴木委員長代理 今日ハ委員長方御出席ニナリマセスカ
ラ、私暫ク代テ狩獵法中改正法律案ノ委員會ヲ開キマス

○山口委員 本提案ノ趣旨ハ、先日農商務大臣カラ本會デ

御説明ニナリマシタガ、尙ホ御出席ニナッテ居ル政府ノ御方
カラ、今少シ詳細ニ拜聴致シタイと思ヒマス

○石黒政府委員 此度ノ狩獵法ノ改正ニ付マシテハ、極メ
テ簡單デアリマシテ、二點ダケデゴザイマス、此中ノ一點

ハ、現行狩獵法ノ第八條ノ狩獵ノ免許稅ノ率ヲ變ヘマシタ
事デアリマス、少シ大體ニ於テ一般ニ之ヲ高クシタノデア

リマス、ソレハ從來狩獵ノ盛ニナリマス結果トシテ、野生鳥
獸ノ減少ガ著シクナッタノデアリマス、現行法制定當時多ク

其事ヲ顧慮シテ、稅率ヲ引上ゲ鳥獸ノ減少ヲ緩和シヤウト
致シマシタ、併シ其結果少シモ見ルベキモノガ無カッタノデ

アリマス、單ニ是ノミデハムヅカシイノデアリマスガ、今回
更ニ稅率ノ引上ゲヲ致シ、狩獵者ノ數ヲ相當ノ數ニ抑制ス

ルコトニシテ、鳥獸ノ減少ヲ緩和シタイ考デアリマス、ソレ
カラ次ニ第十一條ノ改正、即チ御料地、禁獵區、公道等ニ於

テ狩獵ヲ爲スコトヲ得ズトシテアリマシタノヲ、捕獲スル
コトヲ得ズ——狩獵ニ限ラズ捕獲スルコトガ出來ナイト云

フ、絶體的ノ規定ニ致シマシタ、是モ鳥獸ノ蕃殖ノ保護鳥
獸ノ減少ヲ緩和スル意味デアリマス、ソコデ狩獵ト捕獲ト

差異デアリマスガ、狩獵ハ狩獵法ニ規定シテアル獵具ヲ以
テ鳥獸ヲ捕ルコトデアリマスガ、其以外ノ——狩獵法ニ規

定以外ノ方法ヲ以テ捕ルコトヲ捕獲ト云フノデアリマス、
現行法ハ御料地、禁獵區、公道等ニ於テ、單ニ狩獵ノミヲ禁

止シテ、狩獵以外ノ方法デ捕獲スルコトヲ得ルヤウナ缺陷
ガアツタノデアリマス、殊ニ近來空氣銃ニ比較的有效ナモノ

ガドンドン出來テ參ッテ、尤モ空氣銃デモ散彈ヲ用キルヤウ
ナモノハ獵銃ノ中ニ入レテアリマスガ、サウデ無イモノハ

入レテナイ、而モ可ナリ精巧ナモノガ出來テ居ル、斯ウ云フ
狀況デアリマスカラ、ソレデ此改正ヲ致ス必要ガ生ジタノ

デアリマス、此等ノ二點ハ共ニ狩獵鳥獸ノ減少ノ勢ヲ緩和
シ、其蕃殖ヲ保護スル趣意カラ致シマシタ改正案デアリマ

ス

○岩本委員 由來狩獵法ハ、國家ガ稅ヲ取ル意味デ爲サル
御見込デアリマスガ、或ハ狩獵スルコトノ制限、若クハ取

締ラスル意味デ、強チ稅ヲ取ル意味ノモノデハナク、政府ニ
於テハ狩獵法ヲ取扱ニナルノデアリマスガ

○石黒政府委員 狩獵法ノ大體ノ精神ハ、御話ノ如ク稅ヲ
取ルコトヲ目的トシテ居ルノデゴザイマス、鳥獸ヲ適當

ナル程度ニ保護シツ、狩獵ヲ國民ガ永續的ニ行ヒ得ルヤ
ウニ、各種ノ規定ヲシテ居ル次第デアリマス

○岩本委員 第八條ニ付テ伺ヒタイノデスガ、現行法ハ營
業稅所得稅ニ付テソレ——規定シテアルノヲ、今回ハ所

得稅デ比較シテ單一ニ致シマシタノハ、現行法ノ如ク租稅ノ納
稅額ニ比較シテ規定スルヨリモ、所得稅ノミニ依ル方ガ利

益デアルト御認メニナッタ事デアリマセウガ、何カ根據ノア
ル御調査ガアルコト、考ヘマス、若シサウ云フモノガアル

ナラバ伺ヒマス

○石黒政府委員 是ハ大藏省ト農商務省ト兩方ニ亙リマス
問題デアリマス、大藏省ノ關係ノ事ハ大藏省ノ政府委員ノ

出席ヲ求メテ申上ゲマス、農商務省トシテハ、適當ナル程度
ニ於テ免許稅ヲ引上ゲルコトハ、狩獵免許ヲ受ケル者ノ數

ヲ相當ノ程度ニ抑制スル手段デアリマス、隨テ又鳥獸ノ蕃
殖ノ手段方法ノ一トシテ實行シタイ、斯ウ云フ考デアリマ

ス、而シテソレヲ如何ナル標準ニ依リテ納稅者ヲ分ツカト
云フコトニ付マシテハ、是ハ大藏省ト能ク打合セラ致シ

マシテ、大藏省ノ意見ヲ聽キマシテ決定致シマシタヤウナ
次第デアリマス、其交渉ノ大體ヲ申上ゲマス、從來ノ免許

ヲ受ケマス者ノ資産ト申シマスガ、等級ノ區別、是ハ只今御
話ノヤウニ、所得稅トカ云フ様ナモノ、外ニ、地租ト云フヤ

ウナモノガ標準ノ中ニ入ッテ居リマシタガ、納稅區別ヲ致
シマス事實上ノ上ニ於キマシテ、寧ロ所得稅一ツデ行ッダ

ガ適當デアラウ、斯ウ云フ事デ徵稅事實上ノ上カラ今回變
更改シタヤウナ次第デアリマス、其詳シイ事ニ付テ何カア

ルカト云フ事デゴザイマスガ、是ハ農商務ヨリ申上ゲルヨ
リモ大藏省ノ方カラ申上ゲタガ方宜クハナイカト思ヒマス

○岩本委員 此狩獵法中ニ於テ、所謂保護鳥獸ハ農商務大
臣ニ依ッテ之ヲ決定シ得ルコトニナッテ居ル事ハ分ッテ居リ

マスガ、近頃史蹟名勝天然記念物調査會ト云フモノガ出來
マシテ、其結果トシテ、此地方デハ何ヲ獲ッテハナラストカ

云フ事ハ、內務省カラ始終發表ニナッテ、居ッテ、農商務省ト
ノ連絡ガ有ルノカ無イノカ、狩獵法トアノ方ト矛盾シテ居

ルヤウナ考ヲ持チマスガ、此事ニ付テ內務省トノ間ニ交渉
デモアリマスガ

○石黒政府委員 狩獵法ノ方ハ主トシテ先年ノ改正以來、狩
獵鳥獸ト云フモノヲ規定スルコト云フ立前ニ變リマシテ、以

前ノ法律ノ詰リ保護鳥ヲ規定シテ置クコト云フノトハ、根本
ノ立方ヲ變ヘマシタ、只今御話ノ各地ニ於テ史蹟名勝天然

記念物ノ保存事業ノ結果、捕獲ヲ禁ゼラレル鳥獸類ガ段々
出來テ來マス、ソレハ內務省ニ於テ行ハレルコトニナッテ居

ルガ、其間ノ關係如何ト云フコトデアリマスガ、御話ノ通り
内務省ニ於テ其事務ヲ主管シテ居リマスガ、農商務省ヨリ
モニハ關係ノ委員ガ出テ居リマシテ、鳥獸類ノ保存スベ
キモノヲ、地方ニ於テハデレヲスルカ云フ決定等ハ、
殆ド先ヅ農商務省カラノ委員、及動物學者等ノ意見ニ依ッテ
決定サレル事デアリマス、其間ニ於テ事實上ノ連絡ト云フ
モノハ十分ニ取ッテ居リマス、尙ホ手續等ノ詳シイ事ハ、畜
産課長ノ月田技師ガ御見エニナッテ居リマスカラ、同技師ヨ
リ申上ゲテモ宜シウゴザイマス

○岩本委員 私ハ唯、一ツノ説トシテ伺フコトデアリナイ、現
ニ狩獵法施行規則中ニ書イテアル左ノ種類ノ狩獵期間ハ云
々ト云フ例ヲ採リ、現ニ私ノ地方デハ之ヲ捕ッテハナラヌト
云フコトニナッテ居リマスガ、狩獵法ニハ認メラレテ居ル
デ捕ッテ居ルガ、内務省側デ見附ケタ場合ニハ言フコトガ出
來ルガ、此規則デハ認メテ居ル、此間ノ連絡ガ出來テ居ラヌ
ヤウデアル、是等ハ一方デ内務省ガ段々調ベテ捕ッテハナラ
ヌト云フコトニナリマス、此施行規則デハ一々斯ウ云フモ
ノヲ拔差シテシナケレバナラヌ事ガ起ッテ來ハシナイカ、ソ
レハ普遍的デナク一地方限リノモノデアリマス、斯ウ云フ
モノハ地方官ニ於テ保存ノ方法ヲ執ルトカ、何トカ方法ヲ
御研究ニナッテ居リマセウカ伺フ見タイ、更ニ此狩獵期間、
斯ウ云フ事モ此施行規則ノ上ニ、何ハ何月カラ何月マデ捕ッ
テハナラヌトナッテ居ルガ、寒國ト暖國トデハ、交尾期モ産
卵期モ違ッテ居ル、之ヲ一定ニシテ置クト云フコトモ考慮ス
ベキ事デアリナイカ、矢張地方長官ナドニ於テ、幾ラカ此期限
ノ伸縮ノ出來ルヤウナ途モ御講究ニナッテ居リマセウカ、是
モ伺フテ見タイ

○鈴木委員 長代理 一寸御諮リシマスガ、農商務省ノ技師
ノ御方ガオイデニナッテ居リマスカラ、鳥獸ノ農林業等ニ及
ボス影響ノ御話ヲ承ッタラドウカト思ヒマス

○月田農商務技師 近來獵獲ノ結果デアリマセウ、鳥獸
ガ非常ニ減少シマシテ、是ハ政府許リデナク、一般ノ狩獵
等ヲ爲サル方ハ、總テ非常ニ鳥ガ減少クツ云フヤウナ感ハ皆
懷カレルヤウデアリマス、元來鳥類ノ如キハ害蟲ノ驅除ノ
上ニ、一寸氣ガ付キマセウケレドモ、非常ニ有效ナ物デア
リマシテ、何レノ鳥類デアリマシテモ、蓄殖ノ時期等ニ於
テハ主トシテ動物食ニ依ル、即チ蟲ヲ捕ッテ喰フ、尙ホ多數
ノ保護鳥ノ如キモノニナレバ、當時主ニ蟲ニ依ッテ生活ス
ルト云フノデ、農業及林業デ有害トスル蟲類ガ此鳥類ノ
御蔭デ驅除サレル數ハ、非常ニ莫大ナ數ニ上ルノデア
リマス、獸類ニ於マシテモ近來ハ野鼠デアリマス、トカ、
土鼠デアルトカ、云フモノガ、中ニ方々ニ蕃殖シマシテ、
或ハ「チブス」菌トカ、其他ノ諸種ノ方法ヲ講ジテ居リマス

ケレドモ、中ニ驅除ガ奏功シナイ、其農林業ニ及ボス所ノ
影響ト云フモノハ、隨分重大デアルト云フヤウナコトガ、諸
所ノ縣ニ於テ唱ヘラレテ居ルノデアリマス、最近ニ於キマ
シテ、是等ノ小獸類等ノ驅除ニ付マシテハ、之ヲ食料ニシ
テ居ル所ノ種類ガ、毛皮ノ關係其他ニ於キマシテ獵獲セ
ラレタ其結果、敵ガ無クナツタカラ、野鼠類其他ノモノガ
盛ニ蕃殖スルト云フヤウナ事ガ、漸次注目ヲ惹キマシテ、近
時數箇ノ府縣ニ於テハ、特ニ此等ノ小サイ害獸ヲ捕ル所ノ
種類、狐デアルトカ、貂デアルトカ、狸デアルトカ云フヤウ
ナ、サウ云フ風ナモノヲ保護スル、詰リサウ云フモノヲ獵獲
スルコトヲ防グ方法ヲ、漸次講ズル縣ガ出來テ來タノデア
リマス、鳥獸類ガ農業及林業ノ上ニ多大ノ貢獻ヲ爲シツ、
アルト云フコトハ、特ニ申上ゲル程ノ事ハアリマセウガ、實
況ハサウ云フ風ニナッテ居リマス、ソレデサウ云フ風ナ有益
ナモノガ漸次數ヲ減ジマス、ト云フコトハ、非常ニ狩獵法制
度ニ關係スル事デアリマス、如何様ニカシテ獸類ノ蕃殖ヲ
保護スル手段ヲ執リタイト云フノガ、此改正案ノ生レマシ
タ所以デアリマス、大體農林業トノ關係ハソレト致シマシ
テ、先刻御尋ニナリマシタ内務省トノ關係ニ付キマシテ、尙
ホ一言申上ゲテ置キマス、内務省ノ方デ保護スベキ者
、天然記念物等ニ付テ調査ヲ致シマス、先刻政府委員
ヨリモ申上ゲタ通り、農商務省カラソレニ參加ヲ致シテ、
サウシテ、十分ニ調査ヲ致シテ居ルノデアリマス、今迄内務
省ガ告示ヲ致シテ指定ヲ致シタ所ノ獸類或ハ鳥類ト云フコ
トニ付マシテモ、矢張同様デアリマシテ、農商務省ヘ出マ
シタ者ガ參加ヲ致シテ、調査ヲ致シタ結果ガアレニ現ハレ
タノデアリマス、其結果ト致シマシテハ、例ヘバ奄美ノ黒
兎デアリマスガ、アレナドハ天然記念物トシテ保存スルシ
ニナッテ居リマス、是等ハ狩獵法施行規則ヲ改正ヲシマシ
テ、是レ捕獲ヲ限定スルト云フヤウナ事ニスルト云フ工合
ニ、兩方ガ十分ニ歩調ヲ保ッテ行キマス、尙ホ羚羊ノ御話ガ
アリマシタガ、羚羊ハ非常ニ減リマシタ、是ハ保護ノ必要ヲ
十分認メテ居リマス、農商務省ニ於テモ羚羊ノ保護ト云フ
コトニ付テハ、既ニ禁獵區ヲ設定シタノモアリマス、尙ホ禁
獵區ヲ調査中ノモノモアリマス、内務省ノ方デハ現ニ矢張
向フノ主管トシテ調査ヲ致シテ居リマスガ、マダ之ヲ制定
ヲ致シマシテ禁止スルマデハ遠シデ居ラヌヤウニ聞イテ
居リマス、之ヲ若シ内務省ガ其調査ニ依ッテ禁止スルト云フ
コトニナリマスレバ、同時ニ農商務省ニ於キマシテモ歩調
ヲ合セマシテ、矢張狩獵法上何等支障ノ無イダケノ手段ヲ
執ルコトニ致ス考デアリマス、狩獵期間ノ事ハ至極御尤ノ
御説デアリマスガ、幸ニ此日本ニハ今迄ノ所デハ、大體ニ於
テ北カラ南ニ亘リマシテ餘リ大シタ差ガ無イヤウデアリマ

ス、今迄ノ調査デアリマス、トデアリマス、カラ、當
リノ所ハ現行ノ狩獵期間デ先ヅ大ナル差支ハナカラウト考
ヘテ居リマス、ケレドモ、併シハ他ノ外國ノ例ニ依リマシ
テモ、或ハ各區ニ付マシテ狩獵期間ヲ定メテアルト云フヤ
ウナ處モアルノデ、十分狩獵期間ヲ適當ニ定メルト云フコ
トニ付テハ、農商務省ハ十分ニ調査ヲ致ス考デアリマス、
御承知ノ通り議會ノ協賛ヲ經マシテ、鳥類ノ調査ニ關シテ
經費ヲ支出シテ、鳥類ノ調査及鳥類ノ實驗ニ關スル機關ヲ
設置シテ居リマス、其機關ニ於キマシテ折角調査ヲ進メテ、
漸次各般ノ鳥類ニ付マシテ、只今御話ノヤウナ事項ニ付テ
詳細ニ調査ヲ致シマシタ結果ハ、或ハ狩獵期間ノ上ニ變更
ヲ生ズルカモ知レマセウ、現今ハ遺憾ナガラソレマデノ程
度ニ調査ガ進行致シテ居リマセウ

○岩本委員 只今ノ政府委員ノ詳細ノ説明デ態々分リマシ
タガ、只今ノ御説明中ニモ、又此間ノ農商務大臣ノ提案ノ時
分ノ御説明ニ依リマシテモ、此近來野生ノ鳥獸ノ減少ニ依
テ、農林業ノ影響ハ尠ナカラヌト云フコトデ、只今ソレニ
付テノ御話ニモアリマシタガ、現今棲息シテ居ル所ノ此野
生ノ鳥獸ノ爲ニ、此林業等ニ惡影響ヲ及ボシツ、アル方面
ノ御調査ニナツタ事ガアルノデアリマセウカ、之ヲ伺フ見
タイ、少クナッテ影響シタ方ノ事ハ、只今ノ御説明デ分リマ
シタガ、今日居ルト云フコトモ、吾々ノ考ヘル所デハ尠カラヌ影
響ヲ與ヘテ居ルと思ヒマスガ、ソレハ農商務省ノ方デモ御
調ベニナッテ居リマセウカ

○月田農商務技師 御答致シマスガ、只今ノ御尋ノ點ハ多
少ノ事ハ認メテ居リマスガ、マダ詳細ニ如何様ナ害ガアッ
タト云フコトヲ、數理的ノヤウナ工合ニシテ詳細ニ調査シ
テ居リマセウ、或ル程度ノ害ヲ爲ス場合モゴザイマス、其邊
ニ付テノ調査ハマダ進行中デアリマス

○岩本委員 私ハ例ヘバ或ル一ツトシテ、最モ吾々ノ迷惑
ヲ感ジマスノハ、非常ニ是ハ蕃殖力モ猛烈デアリマスカラ
定メテハ農商務省ノ大林區邊邊リニモ、御調査ニナッテ居
ル事グラウト存ジマスガ、兎ノヤウナ者デ、之ニ對シテハ全
ク林業ノ方ハ段々蕃殖スルニ付テハ困リ切ッテ居ル、之ヲ更
ニ捕獲シナイ事ニナッテハ、之ガ少クナッテ農林業ニ及ボス
ノデアリナイ、今日ノ儘デサハモ惡影響ヲ及ボシツ、アルノ
デアリマスガ、此兎ニ付テト云フヤウナ單純ナル御調査、ソ
レダケデモ何カ御調ベニナツタ事ガアリマス、伺フテ置キ
タイ

○月田農商務技師 只今ノ兎等ノ害ニ付マシテハ、大林
區等ニ於キマシテモ色々調ベテ居ル事モアリマス、併シ
是等ニ付テハ、狩獵法ニ依リマシテ有害鳥獸ノ驅除ト云フ
コトガ出來マス、ソレニ依ッテ必要ニ應ジテ驅除ヲ致シテ居

リマス、現ニ各大林區署ヲ捕獲スル數モ隨分多數ニ上テ居ル、一面カラ考ヘルト、兎ノ如キモノガ盛ニ蕃殖スルノハ矢張兎ヲ食料トシテ居ル動物、獸類或ハ鳥獸ノヤウナモノガ減少シテ結果ノ事モ隨分多イグラウト思ヒマス、其方ノ保護ヲ致シマスレバ、又此害ヲ輕減スルト云フコトニナラウト考ヘマス、ソレデアリマスカラ、獸類等ニ付キマシテモ舊法ニハ無カッタノデアリマスガ、現行法デハ幾分狩獵期間ヲ限定シマシテ、サウシテ濫獵ヲ防グヤウナ事ニナッテ居リマス、尙ホ進ンデ十一年度ノ豫算ニ現ハレテ居リマスル通リ、獸類等ニ付テノ調査モ、鳥類調査ト同様ニ致スコトニナッテ居リマス、ソレ等ヲ致シマスレバ、只今ノ事モ段々調査ガ進ンデ行カウト思ヒマス、ソレカラ此機會ニ、鳥類調査ト云フコトハドンナ風ニヤッテ居ルカト云フコトニ付テ、一言御説明ヲ致シタ方ガ宜カラウカト存ジマス、御參考ノ爲ニ簡單ニ申上ゲテ置キタイト思ヒマス、鳥類調査ノ費用ハ、鳥類ニ關スル一般ノ調査ヲ致ス爲ニ支出サレテ居ル、其調査ハドウ云フ風ニヤッテ居ルカト申シマス、二箇所デ調査ヲ致シテ居ル、一ツハ農商務省內ニ一ツハ調査室ヲ設ケマシテ、此處ニ於テ調査ヲ行ヒ、ソレカラソレニ關聯致シテ、一ツハ府下ノ府中ノ南約一里ノ所ニ鳥類實驗所ト云フモノヲ設ケマシテ、此處ニ於テ實地ニ就テ鳥類ノ調査ヲ致シテ居ル、此二ツノ機關ニ依リマシテ、鳥類ニ關スル調査ガ今進行中デアリマス、ソレデ本省ニ於ケル調査ナルモノハ、是ハ實地デアリマセスガ、例ヘバ鳥類ニ付マシテ、或鳥類ノ果シテ有害デアルカ、有益デアルカヲ見マスル爲ニハ廣ク鳥類ノ胃ヲ蒐メマシテ、雀ナラ雀ノ胃ヲ各地方カラ各時期ニ於テ取寄セマシル、其中ノ内容物ヲ詳細ニ検査致シマシテ、其雀ガ食用ニ供シタ物ハ果シテ如何様ノ物カ、植物性カ、動物性カ、動物性ナラバ如何ナル蟲カト云フコトヲ調査致シマスガ、是ハ餘程困難ナル調査デアリマス、或ハ蟲ノ足一本デアルトカ、或ハ齒ノ一ツト云フヤウナ物ガアッテモ、是ハ何ノ蟲ノ足デアルトカ、齒デアルト云フヤウナコトモ、動物學上カラ穿鑿致シマシテ、又羽ノヤウナ物ガアリマシテモ、ソレガ胃液ノ爲ニ腐蝕シテ居リマシテモ、ソレヲ研究シテ、是ハ何ノ羽デアルカ、或ハ穀物ガアレバ、ソレハ何デアルカト云フ研究ヲ植物學上カラ致シ、サウシテ是等ノ調査ヲ施行致シマスル、此鳥ハ果シテ有益デアルカ、有害デアルカ、或ハドノ程度ノ益鳥デアルカト云フコトガ分ッテ來ル、ソナ風ニ食性ニ關スル調査モ色々致シマス、又蕃殖ニ關スル調査モ致シマス、其他鳥ガ渡鳥デゴザイマス、渡鳥ニ付テハ全國中ドノ地ニカ適當ノ人ニ囑託シテ調査ヲ致シテ居ル、ソナヤウナ風ニ調査室ニ於テハ諸般ノ調査ヲ致シテ居リマス、又實驗所ノ方デハ、ソレヲ實地ニ就テ實際ニ鳥ノ

蕃殖ガドウデアルカ、又其他ノ習性ノ試驗モシマス、又食性ニ付テモ實物ヲ使ッテ研究スルト云フヤウナ事ヲ實際ヤッテ居ル、デソレ等ノ調査ガ進行致シマスレバ、餘程鳥類ニ付テハ、今マデ我國ニ於テ分ッテ居ラヌヤウナ、外國ノヲ翻譯シテ居ルヤウナ事ガ、全ク我國ニ最モ適當デアルカ——適シテ居ルヤウナ方法ヲ執リ得ル基礎ガ出來ヤシナイカト思フ、更ニ十一年度ヨリ幸ニ獸類ニ付テサウ云フ調査ガ始マレバ、同様ニ研究ヲ致シテ、益々狩獵法ノ目的ヲ達スル事ガ出來ヤセヌカト考ヘテ居ル、大體鳥類調査ノ現況ヲ申上ゲタ次第デアリマス

○岩本委員 今回此狩獵稅ヲ引上ゲルト云フコトハ、之ヲ引上ゲテ狩獵者ノ數ヲ少クスルト云フ意味ニ依ッテ、野生鳥獸ノ保護ヲ爲シ得ルモノト云フ御趣意ラシイガ、此鳥獸保護ノ上ニ付テハ、當ニ此狩獵稅ヲ引上ゲル以外ニ、何等カ農商務省ノ方ニ於テ御考慮ニナッタ事ガアルノデアリマセウカ、其邊ハ唯之ヲ以テ唯一ノ好方法ナリト云フ御考デアリマセウカ、例ヘバ此狩獵規則ニ於テハ、場合ニ依ッテ禁獵區域ヲ設ケルコトヲ得ト云フヤウナ事モアルガ、サウ云フヤウナ事モ深ク御研究ニナッテ云フヤウナ事モアルガ、ドウデアリマセウカ、只今日ノ經濟ノ度合カラ見テ、此狩獵稅ヲ幾ラカ引上ゲタラ宜カラウト云フ意味合ヲ持ッテ居ラル、ノデアレバ、吾々ハドウモ疑ナキ能ハヌヤウニ思フ、今日鳥獸保護獎勵ガ、先ヅ此一途アルノミト云フ御考デアリマセウカ、之ヲ一應御尋致シマス

○石黑政府委員 只今ノ御質問ニ對シテ私ヨリ御答申上ゲマスガ、是ハ先程御説明申上ゲル時ニモ一寸申シマシタガ、是ハ鳥獸蕃殖ノ保護ノ一ツノ有力ノ方法トシテ稅率引上ゲノ必要ガアルト云フコトヲ申上ゲタノデアリマス、其外ノ方法トシテ考ヘテ居ルカ、斯ウ云フ御話デアリマスガ、ソレハ只今御話ニモ出マシタヤウナ、禁獵區ヲ設置ト云フコトニ付テモ考ヘテ居リマス、此方法モ有力ナ即チ鳥獸蕃殖ノ根據地ヲ作ルト云フ事ニモナリマス、ソレカラ其他月田畜產課長カラ申シマシタヤウニ、鳥類ノ食物ノ調査ヲ初メ獸類ノ調査、即チ益鳥ナリヤ、害鳥ナリヤト云フ事ヲ調べ、從來害鳥ト云ッテ居ラレタモノデモ、サウデナイモノモアル、サウ云フヤウナ事ヲ段々明ニ致シタイト云フノデアリマス、其調査ノ實況ニ付テハ、今月田課長カラ申上ゲタヤウナ譯デアル、吾々素人カラ見ルト、實ニ非常ニ精密ナモノデアリマシテ、各地方カラ各種ノ鳥ノ餌ヲ送ラセテ、ソレヲ水デ洗ッテ、一粒モ殘サズ内容ヲ調査シテ居ルヤウナ事デアリマシテ、是等ヲ段々調査シテ、何鳥ハ如何ナル時期ニハ蕃殖スルカ、如何ナル時季ニハ如何ナル食物ヲ取ルカト云フヤウナ事ガ分ッテ參リマス、サウスルト一方ニ此狩獵ニ關スル時期

ノ制限デアルト云フヤウナ事ニ付テハ餘程影響ヲ及ボシテ來ルヤウニ思フ、ソレ等ヲ調ベマシタ結果、サウ云フ所ニ改正ヲ加ヘテ、鳥獸類ノ蕃殖ノ保護ノ方法ヲ執ルト云フコトモ、一ツノ方法グラウト考ヘマス、其他尙ホ是ハ多少意味ガ違フカモ知レマセスガ、內務省ノ農村事業ノ方面デアリマスト云フヤウナ事モゴザイマス、色々方法ハ講ジタイ考ヲ持ッテ居リマス、是ノミデ蕃殖保護ヲ圖ルト云フノデアアリマセヌ

○山口委員 岩本君ノ御尋ニ關聯シタ事デ、一ツ御尋シタイト思ヒマスガ、一番困難ナ事ハ密獵者ヲ防グ方法グラウト思フ、今稅ヲ以テ狩獵者ヲ制限シタ所ガ、地方ニ於ケル昨今ノ密獵者ノ數ト云フモノハ非常ナモノデアル、殆ド東京ニ近イ近村ヲ廻ッテ見マシテモ、家毎ニ安イ銃器ヲ持ッテ居ルノデアリマス、皆ソレガ免狀ヲ持ッテ居ナイ、サウ云フ人ガ亂獲シテ居ルノデアリマス、其取締ノ方法ニ付テ政府ハドウ云フ手續ヲ執ッテ居ラレマスカ

○石黑政府委員 只今ノ御尋ノ點モ、確ニ鳥獸ノ保護ニ付テ有力ナモノデアラウト思ヒマスガ、是ハ當ニ鳥獸ノ蕃殖保護タケデハゴザイマセヌ、狩獵法施行ヲ嚴ニスル一方ニ於テハ、正當免狀ヲ受ケタ者ニ正當ナ狩獵ヲセシムル云フ上カラ言ッテモ必要ナコトデゴザイマス、今日迄ハ地方警察官、村長、森林官吏ト云フ者ニ狩獵法ヲ取締ラシメテ居ルノデアリマス、是モソレダケハ足リナイト云フコトカラ致シマシテ、法律ノ改正前ニ於テハ、各地方ノ之ガ專門ノ取締監督ノ吏員ヲ一名ヅ、配置致シテ居リマシタガ、之ヲ來年度ヨリ増シマシテ、更ニ一名ヲ加ヘル、斯ウ云フ計畫デアリマス

○矢島委員 先程岩本君ノ御尋ニナリマシタ事ハ、私ノ伺ヒタイト思ッタ所デゴザイマス、此表ヲ見マシテモ、各府縣ニ於テ禁獵區ヲ設定シテ居リマスノデ、此改正ノ御趣旨、即チ鳥獸ノ減少ヲ防止スルト云フコトモ、常ニ結構ナ事ト思ヒマスガ、之ニ關聯シテ禁獵區ヲ設ケタ結果禁獵區設定ノ趣旨ト云フモノガ各地方ノ農民ニ徹底シテ居リマセヌ爲ニ、先程モ御話ノアッタ如ク、禁獵區ガ出來タ爲ニ非常ニ難子、難ガ殖エテ、吾々農民ハ迷惑シテ居ルニモ拘ラス、僅ノ狩獵家ヲ保護シテ斯ノ如キ害ヲ與ヘテ居ルノデアル、昔シ封建時代デアリマシタナラバ、唯法律ヲ以テ強テヤリマシタケレドモ、今日國民ノ思想ガ變化シテ居ル時代ニ於テ、何等趣味ノ無イ法律ヲ遵奉スル事ハ忍ビナイ、國民ノ不幸ノ聲ハ此狩獵法ガ徹底セヌ爲メデアル、是ハ警察署長ナリ、町村長ナリガ、此趣旨ヲ十分ニ承知シテ居ナイ爲メト思ッテ居リマス、警察署長ナドハ、アナタハ斯ウ云フ不平ノ聲ガアリマスガ、ドウ云フ風ニ此狩獵法ヲ説明スルカ、實ハ禁獵區ヲ

設ケタ以上ハ農民ニ諒解サセル必要ガアルカラ、能ク説明シナケレバナラス、私共懇意ノ者ニ向テ意見ヲシテ居リマスケレドモ、是ハ實際ニ於テ殆ド説明ヲ與ヘテ居ラスカノヤウニ思ヒマス、又此説明ハ御承知ノ如ク、説明ノ要領ヲ能ク研究セスト甚ダムツカシイモノデアリマス、ソレニ對シテ所謂政府委員ノ御所見ヲ伺ヒタイ、先程林業ニ及ス害ニ付テハ一通リ伺ヒマシタケレドモ、鳥獸ノ農作物ニ及ス害ニ付テ、マダ十分調査シテ居ラヌト云フ御話デアリマシタガ、甚ダハ遺憾ニ思ヒマス、故ニ是ハ緊急此事ヲ決定爲サル必要ガアルト思ヒマス、之ニ對スル御所見ヲ一通リ伺ヒタイ

○月田農商務技師 只今ノ御尋ニ御答致シマスガ、禁獵區ハ此表ニゴザイマス通り大分澤山ニナツテ居リマシテ、現在設定シマシタモノハ、全ク農商務大臣ニ權能ヲ與ヘラレタ爲ニ出來タノデアリマス、併シ此禁獵區設定ノ際ニ當リマシテ、十分其土地方果シテ禁獵區トシテ鳥獸ノ保護ガ出來ルヤ否ヤト云フ事ヲ調査ノ上ニ、尙ホ地元ノ關係等モ出來ルダケ調査致シマシテ、先ツ差支ナイト云フ結論ヲ得マシタ所デ設定スルト云フコトニナツテ居リマス、併シソレガ徹底シナイデ、御質問ノヤウナ事モアラウト考ヘマスガ、併シ禁獵區ニ於キマシテ、從來私共ノ地元ニ就テ調ベタ所デハ、割合ニ害ガ少イノデアリマス、雉子ノヤウナモノガ往々ニシテ害ヲ爲シマスルガ、又一面カラ考ヘマスル、夏ニナレバ之ガ蕃殖時期、其他ニ於キマシテ害出ラ取テ、有益ノ働キヲスルト云フ様ナ事モアリマスカラ、害益差引キスル事モ出來ルト云フ様ナ程度ノモノニ見テ居リマス、併シ御承知ノ禁獵區ガ何故ニ設定サレルカト云フコトノ趣旨ガ一般ニ徹底シテ居ラヌト云フ事ハ、至極御同感デアリマシテ、其通りデアラウト思ヒマス、此禁獵區關スル從來ノ取締法ハ單純ノ取締デアリマシテ、警察官等方代ル、取締テ居ル仕事ニナツテ居リマシタガ、現行法制定當時、各府縣ニ主任ヲ置キ事ニシタ結果、是等ノ者ガ取締ト云フ事ニ付テ中心點トナツテ、警察官ト力ヲ協セテ、脈絡ヲ保テ取締ヲ行フト云フ事ニナツテ居リマス、尙ホ鳥獸ノ保護蕃殖ニ付テ、徹底的ニ獎勵ナリ、指導ナリヲスル職務ヲ持ッテ居ルノデアリマシテ、是等ノ點ニ付キマシテモ、只今御注意ガアリマシタケレドモ、併ナガラ是ハ大正八年カラ實施シタノデアリマスカラ、マダ十分狩獵法ノ趣旨ヲ一般ニ普及サセルト云フマデニ至ッテ居ラスノデアリマシテ、ソレガ爲ニ禁獵區等ニ付テモ色々地元ニ於テ苦情ガ起ルト云フコトハ已ムヲ得ス事デアリマスガ、來年度ニ於キマシテハ更ニ一名ヲ増員致シマシテ、矢張同様に職務ヲ執ラシムル事ニナリマシタカラ、只今御心配ノアルヤウナ事ハナカラウト思ッテ居リマス

○矢野委員 此改正案ノ趣旨ガ鳥獸保護ト云フコトニナツテ居リマスガ、此稅デ——今度ノ改正ノ趣旨ニ於テデナク、其他ニ此保護ノ目的ガ幾ラモアルト思ヒマス、單ニ稅金ヲ引上ゲルト云フ外ニハ是ニハ無イヤウニ思ヒマス、是デ足リテ居ル譯デモナイ、此外ニハアリマセヌガ、此目的ヲ達スル方法ハ外ニ無イト云フノデスカ

○石黒政府委員 只今ノ御尋ハ、先程御尋ガゴザイマシタ様ニ、是ノミデアルトハ思ッテ居リマセヌ、先程御尋ニゴザイマシタ禁獵區ノ設定デアルトカ、或ハ鳥獸ノ蕃殖時期ニ對スル保護デアリマシテ、斯ウ云フヤウナ方面モゴザイマスシ又密獵者ノ取締ノ事モゴザイマス、是等ノ方法ヲ數ヘ上デレバ、今述べタ事柄ナドガ特殊ナ事ト思ッテ居リマス、尙ホ其他ニ——是ハ會テ本會議ノ農商務省ノ豫算分科會デ青森縣ノ阿部武智雄サンカラノ御意見デアリマシテ、鐵砲口徑ヲ制限シタラ宜カラウ、又散彈ノ禁止ヲシタラ宜カラウ、一ツ彈丸デ擊タセルヤウニシタラ宜カラウト云フヤウナ御意見モ出マシタ、是等ノ點ニ付テハ農商務省デハマダ研究シテ居リマセヌ、サウ云フ方法ヲ執ルト云フ考ヘハ、マダ持ッテ居リマセヌト云フコトヲ御答致シタノデアリマス

○矢野委員 サウシマシト、此改正案ニ付テ私共モ成案モアリマセヌカラ、別段意見ヲ申上ゲマセヌガ、此他ニ相當ノ方法ヲ講ジナイト云フト、近來經濟ガ膨脹シテ居リマスノデ、此位ノ稅金ヲ上ゲタ位ノ事デハ目的ヲ達シナイト云フトコトヲ斷言シテ宜カラウト思ヒマス、モウ少シ他ノ方法デアリ必要ガアルト思ヒマスガ、併シ是ハ此法案以外ノ方法ニ致シマス、ソコデ——等ト——等ト——所得稅ノイ書イテゴザイマスガ、其他ノ稅金、地租等ニハ關係ガ無イヤウデアリマスカ、ドウ云フ譯デ所得稅ノミヲ標準ニシマシタカ

○石黒政府委員 ソレハ農商務省ト大藏省トニ亘リマスカラ、詳シイ事ニ付テ大藏省ノ出席ガ必要ナレバ要求シテ申上ゲタイト思ヒマスガ、農商務省トシテハ、相當ニ免許稅率ヲ上ゲマシテ、狩獵者數ヲ抑制スルト云フ事ヲ現ハシタイト云フ希望デゴザイマス、ソレヲ如何ヤウナ標準デ、ドウ上ゲルカト云フコトニ付テハ、大藏省ト色々打合シマシタ結果、茲ニ提案シタ次第デアリマス、尙ホ其率ガ此位デハイカナイト云フ御意見デアリマスガ、農商務省ト大藏省ト打合セノ結果ハ、サウドウモ一時ニ之ヲ上ゲルコトハ出來ナイカラ、此位ノ程度ガ宜カラウト云フコトニナツテ居リマス、所得稅一本ニシテ地租、營業稅等ヲ——從來ノ三稅ヲ鼎立的ニ見テ居タノ一ツニシタト云フ理由デゴザイマスガ、大藏省ノ見ル所カラシテ、現行狩獵法ノ制定ノ當時ニ、營業稅ノ率ト云フ様ナモノハ大分變テ來テ居リマス、其外所

得稅ノ稅法ノ改正ガゴザイマシタ、所得稅ガ綜合的ニ賦課サレルヤウニナツテ、是ハ免訴ヲ受ケルノ住所ニ全部綜合サレテ居ルト云フ事ニナツタノデアリマス、之ニ依ル方ガ宜カラウ、其他ノ地租トカ營業稅ト云フヤウナモノヲ、矢張標準中ニ鼎立サシテ置クト云フコトハ、却テソレヲ鼎立サシテ置イタ結果、其人ノ居住ノ——市町村内ノ居住ト云フコトニ限ラレル弊ガアリマスカラ、所得稅ノ一本デアリマスレバ、ドウモ此處等ノ標準ニ書イテアルモノハ——現行法ノ標準ニ書イテアルモノハ、皆所得稅ヲ納メテ居ルモノト認メラレルカラ、所得稅一本デ行キタラ宜カラウト云フ趣旨デアッタノデアリマスガ、細カイ事ニナルト大藏省ノ方カラ申上ゲタ方ガ宜カラウト思ヒマス

○矢野委員 所得稅ノ一番安イノハ、地稅ノ幾ラ位ニ適シマスカ、是ハ大藏省デナイト分リマセヌカ

○鈴木委員 代理 御諮リヲ致シマスガ、大藏省ニ關係ス事ハ、大藏省ノ政府委員カラ御聽キニナルヤウニ願ヒタイ思ヒマス

○矢野委員 主トシテ狩獵ヲ以テ生計ヲ立テル者、此區別ハ餘程ムツカシイト思フガドウシテ區別ヲ立テマスガ、私ハ是ハ出來ナイト思ヒマス、何カ的確ノ標準ガナケレバナラス、中央部ノ人ニ委シテハ迎モ出來ナイト思ヒマス

○石黒政府委員 御質問ノ通りニ職獵者ト云フコトヲ定メルノハ非常ニムツカシイト考ヘマス、餘程古イ法律ニハ職獵ト云フ名稱ガアツタノデアリマスガ、其後久シク缺イテ居リマス、今回率ヲ改正致シマスルノモ、一般ニ大體學ガデアリマスケレドモ、併シ狩獵ヲ以テ職業トシテ居ル者マデヲ舉ゲル事ハドウデアラウカト云フコトノ、結局四等ト云フモノヲ存シタ、斯ウ云フ結果ニナツテ居リマス、其結果ドウ云フ者ヲ其範圍ニ認メルカト云フコトハ、餘程ムツカシイト考ヘマス、客觀的ニ色々其人ノ生活ノ狀態カラ觀察致シマシテ、狩獵ノ收入ガ其狩獵期間内ニ於ケル生活費ノ大部分ヲ占メルト云フモノヲ、具體的ニ見テ定メルト云フ外方法ハ無カラウカト思ヒマス、此定メ方ドウ云フ風ニスルカト云フコトハ、是ハ餘程ムツカシイト思ヒマスガ、要スルニ是ハ狩獵ヲ以テ生計ヲ立テ居ル者、少クモ狩獵期間ハソレヲ以テ生計ヲ立テ居ル者ト見ナケレバナラス、之ヲ廣ク認メマシテ、サウシテ稅率ノ増加ヲシマシタ、改正法ノ結果ヲ無ニスルヤウナ、廣ク解釋シテ何デモ之ヲ免レデシマフ、免レルト云フカ、下ノ方ニ入ッテシマフト云フコトノ無イヤウニ、努メテ嚴格ニ解釋シタイト考ヘテ居リマス

○矢野委員 全國デ所ニ依リマシテ、或ハ樺太邊デ、赤鼠ナゾ捕ルヤウナ商賣人ハ本當ニ職獵デ、内地ニ於テハ鳥獸保護ト言ハレマスガ、日本ニハ本當ニ獸保護スルモノハ

幾ラモ無イト思ヒマス、多クハ鳥ダラウト思ヒマス、鳥ヲ捕
テ職業ニシテ居ル人ハ殆ド無カラウト思ヒマス、職業ニナ
ラナイ、ソレモ珍イ鳥ガアレバ兎ニ角、私ハ殆ド無イト思
フ、専門ノ猪捕ヲシテ居ルヤウナガアルガ、是等ハ鳥ナゾ
ハ幾ラモ捕ラナイカラ、誠ニ結構デアアルガ、其他所謂職業ト
シマスケレドモ、鐵砲打ノ案内ヲスル者、是ナゾハ決シテ職
業トハ言ヘナイ、サウシマスモ私ハ僅少ナモノト思ヒマス、
極ク僅少ナ意味デ本當ノ職業者ト云フナラ宜イデスガ、是
ハ或ハ標準ヲ定メテ貫ヒマセヌト、或ハ協賛ヲ與ヘル事ガ
出来ナイ

○月田農商務技師 職獵ハドウ云フモノデアアルカニ付テハ
只今政府委員カラ申上ゲタ通り、随分困難ナ事デアラウト
思ヒマス、併シ皆地元デ免許ヲ與ヘマスカラ、地元ノ調査ニ
依リマスレバ、大體ニ於テ主ニ狩獵期間ハソレニ依テ幕シ
テ居ルカ、或ハ相當職業ガアッテ、ソレノ收入ヲ當テニセ
デモ出来ルヤウナモノデアアルト云フコトハ、大體分ル事ト
考ヘテ居リマス、ソレデ御手許ニ上ゲマシタガ、職獵者ガ
ノ位アルカト云フコトハ、大正九年ノ調査デゴザイマスガ、ソ
レニ依リマスルト本當ノ職獵者ト云フモノハ、全國デ二千
三百八十七人、准職獵者ハ一万六千二百三十ト云フコトニ
ナッテ居リマシテ、大體地元ニ於テ此位ノ區別ハ出来ルカト
考ヘテ居リマス

○矢野委員 サウスルト餘程嚴重ナ意味デ調査ニナツタノ
デアリマスガ、職獵者ト普通ニ稱スル此者ハ實際當ニナリ
マセヌ、サウ云フ意味デスカ、斯ウ云フ改正ヲスル意味デ、
嚴格ノ意味デ御調査ニナツタ統計デアリマスガ、所謂職獵者
デアリマセヌカ、其點ヲ私ハ不安ニ思ヒマス

○月田農商務技師 是ハ職獵ノ法律ニ關係シマシテ、實際
狩獵ニ依ッテノ狩獵期間ヲ生活シテ居ル、又主ニソレニ依
ッテ生活シテ居ルト云フ者ガ、ドウ位アルカト云フコトヲ調
ベタイト云フ考デ取ツタデアリマス、是ハ大正九年——其
例ニモ實ハ取ツタ事ガアルノデアリマス、七年頃ニモ調査ベ
タ事ガアリマス、今回ノハ今ノヤウナ目的デ新ニ調査ヲ致シ
テ來タデアリマス、併シ大正七年ノ時分デモ餘リ數ニ於
テ變ハナイノデアリマス、多少今回ノ調査ノ方ガ殖エテ居
リマスガ、大シタ相違ハナイ事ニナッテ居リマス

○矢野委員 モウ一ツ是ハ本會議ニ於テ田淵君カラ意見ガ
出テ居リマシタガ、家族ト云フモノヲ主人同様ニ見ル、是ハ
實際ニ於キマシテ、今日狩獵ノ規則ヲ見マスト、先ヅ一等
ノ資格者若クハ其子弟ノ鳥獸ヲ捕ル數ニ於テハ、極ク少イ
モノト見テ宜カラウト思フ、ソレデ免狀ヲ下付シタ割合ニ

鳥獸ヲ捕ルコトガ少イ、一面ニ於テハ之ヲ以テ紳士ノ遊ト
モ申シマスガ、運動ニナリ高尚ナ遊ト思ヒマス、夏ナラバ登
山モ出来ルケレドモ、冬ナラバ運動スルニモ工夫ガ惡イ、先
ヅ鐵砲デモ擔ガウ、斯ウ云フ人ガゴザイマス、サウ云フ人ハ
私ハ割合ニ鳥ヲ捕ラナイ、サウシテソレガ一種尙武の氣風ヲ
養成スルト云フ事ニナル、運動ニモナルト云フコトデアリ
マスケレドモ、餘程ノ金持デナイト云フト、百圓ノ免狀ヲ取
ルト云フコトハムツカシイ、デアリマスカラ、サウ云フヤウ
ナ社會政策ト云フ意味デアリマセウカ、或ハ國民保健——
身體ヲ宜クスルト云フ立場カラ考ヘマスト、其家族ヲ半額ニ
スルト云フコトハ、私ハ正當ノ事デアラウト思フ、但シ一等
二等ニ限ッテ此點ハ是非一ツ御考慮ヲ願ヒタイ、サウシナイ
ト云フト、一等、二等ヲ設ケテ趣意ト云フモノハマルデ没却
サレテシマフ、デアリマスルカラシテ、家族ハ半額ニスルト
云フ位ノコトヲ玆ニ設ケルト云フコトハ社會政策ノ上カラ
言ッテモ、多少此改正案ノ趣意ニ反スルカモ知レマセヌガ、
税金ヲ上ゲルト云フ趣意ニ反スルカモ知レマセヌガ、此半額
ニスルト云フコトガ適當ト考ヘマセヌガ、之ニ對スル政府ノ
御意見ヲ承リタイ

○右黑政府委員 只今ノ一二等ノ免狀ノ額ヲ、家族ニ付テ
ハ半額ニシタラドウデアアルカ、斯ウ云フ説ニ關スル意見ハ
ドウダト云フ御説デアリマスガ、是ハ本議場デハ田淵サ
ンカラモ御質問ガアリ、農商務大臣カラモ御答ヲ申上ゲテ置
イタ所デゴザイマス、是ハ久シク此家族ノ狩獵者ハ戸主ト
同様ニ免許稅ヲ納メルト云フコトニナッテ居ル今日デゴザ
イマス、以前ノ狩獵法ニ於テハ非常ニ之ヲ區別シテ居タ事
ガアツタヤウニ存ジマス、ソレ以來長イ間モウ此儘出来テ居
リマス所ヲ、再び家族ヲ半額ニスルト云フコトノ——ソレ
ダケノ必要ヲ當局ニ於テハ認メテ居リマセヌノミナラズ、
比較的財産ノアル人々ノ家ニ於キマシテ、其處ノ子弟等ガ
全ク運動遊戲ノ爲ニ狩獵ヲ致シマスルノハ、是ハ之ニ對ス
ル免許稅ト云フモノハ、從前同様ニ課シテ宜カラウト云フ
風ニ考ヘテ居リマスノデアリマス、之ヲ半額ニ致シマス
云フ事ハ、一方ニ於テスキスルト、家族ノ名義ヲ以テ免許ヲ
受ルト云フ人ヲ出シハシマイカト云フヤウナ處ノアル點ニ
モナリマスノデアリマスカラ、サウ云フ事ノ關係カラ致シ
マシテモ、同等ニシテ置ク方ガ宜カラウト、斯ウ云フ考デ、今
回ノ法案ニ於テハ從來通り同等ノ税率ニ決定シテ居ルヤウ
ナ次第デアリマス

○矢野委員 私共ガ鐵砲ヲ擔イデ山ニ參リマス、鳥ハ非常
ニ減少シテ居ッテ洵ニ苦痛ヲ感ズル譯デアリマス、モウ鐵砲
ハ止メテシマフト云フヤウナ感ジハ度々起ル、此時ニ續々

鐵砲ヲ擔イデ行ク奴ニ出會フト、ソレガ本當ニ免許ヲ有ッテ
居ルノカドウカト、非常ニ不快ニ感ズルノデアリマス、ソレ
ガ如何ニモ密獵者ヲシイト云フ場合ニ、何ト力ヲ取ツチメ
テヤルト云フ工夫ハ付カヌモノカト常ニ考ヘテ居リマス、
然ルニ狩獵官ト云フノガ各府縣ニ置イテゴザイマスガ、是
ハ典禮ナガラ些ノ効ガアリマセヌ、零ト云ウテモ宜シイ、假
令之ヲ一縣ニ何人置イタ所ガ九人置イテモ、十人置イテモ
駄目ダ、警察官モ駄目ダ、殆ド鳥ノ名ナドヲ知ッテ居ルヤウ
ナ者ハナイ、町村長モ無論駄目ダ、本當ニ密獵者ヲ取締ルナ
ラバ、私ハ狩獵免狀ヲ持ッテ居ル者ハ取締スルコトガ出来
ル、即チ五ニ免狀ヲ見セ合フ、若シ無イナラバ直ッテ告發スル
ト云フコトノ權利ヲ免狀ヲ持ッテ居ル人ニ與ヘル、是ハ最モ
徹底シテ居ル、是レ以外ノ取締デハ少々ノ金ヲ使ッテ駄
目ダ、之ニ就テ御意見ハ如何デアリマスガ

○右黑政府委員 只今ノ御尋ニ付キマシテ一部ハ私カラ申
上ゲマス、一部ハ月田技師カラ申上ゲマス、犯罪者ノアツタ
場合ノ告發ノ件デアリマス、只今私ノ考ヘテ居リマス所デ
御答申上ゲマス、明ニ犯罪者ガアツタト云フコトデアレバ、
告發ハ出来ルコトニ考ヘテ居リマス、唯ソレノ根據トナル
ノハ、此免狀ヲ見セル、見セナイトカ云フコトガ根據ニナル
ノデアリマスカラ、其免狀ヲ見セル事ヲ要求スル權利ヲ免
許ヲ受ケタ者相互ノ間ニ於テ認メルト云フ所ノ法律ヲ定メ
ナケレバナラスヤウナ、必要ノ問題ニナルダラウト思フ、其
處ハ只今ノ法律ニ於テハゴザイマセヌノミナラズ、改正案
ニ於テモ其處マデハアリマセヌガ、將來ニ於テ若シサウ云
フコトガ出来ルカ、出来ヌカト云フコトニ付テハ能ク調査
ヲ致シタイト思ヒマス、只今ノ所デ其處マデノ權限ヲ與ヘ
ルト云フ考ハ持チマセヌ、ソレカラ警察官ノ取締ノ不行届
ノ事デ、只今御説ノヤウニ、鳥獸ノ名前等モ知ラヌ者ガ多
イト云フコトハ實際ダラウト思ヒマス、是ハ狩獵法改正後ニ
於キマシテ——前回ノ改正後ニ於キマシテ、大分此方面ニ
付キマシテハ力ヲ盡シテ居リマス積リデアリマス、即チ府
縣ニ於テモ警察方面ノ人ニ對シテ狩獵法ノ講習ヲ致シテ、
漸次ニ此取締ニ付テノ觀念モ養成サレルト云フ方法ヲ執ッ
テ居リマス、唯如何ニシテ場所ガ廣イ、ソレカラ日ガ淺イ、
ソレ等ノ事ガ思フヤウニ行ッテ居リマセヌコトハ御話ノ通
リデアリマス、講習ノ事ニ付キマシテハ、一寸月田君畜産技
師カラ申上ゲテ置キタイト思ヒマス

○月田農商務技師 警察官ノ方ニ鳥獸ニ關スル知識ヲ與ヘ
ルコトハ困難デアリマスガ、現行法ヲ施行致シマシタ時ヨ
リ各府縣ニ主任官ヲ置キマシタノデ、其主任官ヲ召集致シ
マシテ、稍々長期ニ亘ッテ狩獵法ノ施行ニ關シテノ必要ナ知

識ヲ與ヘタノデアリマス、是等ノ與ヘラレタ知識ヲ、直ニ縣ニ歸リマシテ、相當ノ機會ニ於キマシテ、警察官等ニソレヲ傳ヘルト、斯ウ云フ事ニナツテ居リマス、其外鳥類ニ關シテ——狩獵鳥類ニ關シテノ書物等ヲ出版致シマシテ、サウシテ各警察署及分署等ニ普ク配リマシテ、鳥類ニ關シテノ知識ヲ一般警察官ニ與ヘル所ノ方法ヲ執ツタデアリマス、ソレカラ縣ノ主任ノ者ハ、大正八年法律施行當時ノミナラス、其後毎年召集致シマシテ、毎年必要ナ知識ヲ注入ヲ致シテ居ル、ソレヲ縣ニ歸リマシテ又之ヲ警察官ニ移スト、斯ウ云フヤウナ方法ヲ執ラシテ居ルデアリマス、現ニ警察官ノ練習所等ニ於キマシテハ、相當此狩獵ニ關スル講義モ致スヤウナ事ニ、東京警視廳初メナツテ居ルヤウデアリマシテ、漸次警察官ニ於テモ狩獵鳥類等ニ付テノ知識ヲ會得スルト云フコトニナラウト考ヘテ居ルデアリマス

○矢野委員 ソレデ私ノ質問ハ終リマスガ、各府縣ハ知リマセヌガ、愛媛縣ナドヲ見マス、警察官ガ主任ニナリマシテ、狩獵會ト申シマスカ、射的會ト申シマスカ、ト云フヤウナモノヲ組織シテ、サウシテ免狀ヲ持ッテ居ル人ヲ會員ニシテ、色々ナ保護鳥ヲドウスルトカ、御互ニ德義ヲ守ルトカ云フヤウナ事ヲヤツテ居ル、ソレハ宜イ事ト思ヒマス、恐ラク只今御話ニナリマシタ趣意カラ出發シテ居ルモノト思ヒマスガ、サウ云フ風ニ狩獵者ノ德義、御互ニ關スルヤウナ事ニナルト、自然ソレガ取締ニモナリマス、鳥獸保護、農產物ニ關スル目的ヲ達スルニ於テハ、非常ニ有效ナ事ト思フテ居ルデアリマス、尙ホアレバ徹底サスヤウニ御盡力アランコトヲ、此機會ニ於テ希望シテ置キマス

○佐々木委員 先程カラ色々御質問ガアツタノデ稍々了解致シマシタガ、農業ナリ此林業ナリヲ保護スル意味ニ於テ此案ヲ出サレタ譯ナノデ、無論現在ニ於テ農業、林業ノ保護ト云フコトハ、無論期セナクチヤナラス、獨リ本法ノミナラズ、先程カラ色々御希望ガアツタヤウデアリマスガ、他ノ方法ヲ以テ十分徹底ノ農林業ノ保護ノ政策ヲ執ラレト云フコトハ、私共無論ソレニ贊スル譯デアリマス、所デ此改正案ト云フモノガ、税額ヲ上ゲルト云フコトハ、即チ農林業ヲ保護スル上ニ於テ、鳥獸ノ減少ヲ防止スルト云フ御趣意ダラウト思ヒマスガ、サウシマスルト、農林業ヲ保護スルニ必要ナル最低限ノ鳥獸、此最低限ノ鳥獸ノ數量ノ上ニ於テ、ソレ以上尙ホ今日デモ日本ニ鳥獸類ガ存在シテ居ルノデアアルカドウデアアルカ、若シ農林業ヲ保護スルニ必要ナル最低限ノ鳥獸ガ、現在日本ニ於テ缺陷ヲ生ジテ居ルト云フナラバ、尙ホ一層進シテ何ガ故ニ狩獵ト云フモノヲ徹底ノ嚴禁ニハナラスノデアアルカ、嚴禁ニ相成ツテ居ラス所ヲ見ルト、

最低限ヨリ、ヨリ以上ノ量ヲ尙ホ愛ニ存在シテ居ルト御認メニナツテ居ルノデアアルカ、ドウデアアルカ、此處ヲ一ツ確メテ見タノデアリマス、若シ既ニ現在量ニ於テ、最低限ノ必要ナル量以上ノモノガ無イト云フナラバ、之ヲ何トカ農林業保護ノ爲ニ徹底ノ禁止サレト云フ方法ヲ講ジナケレバナラスト思ヒマス、況ンヤ先程矢野君ノ御話ノ如ク、多クハ樂ミ半分ニヤツテ居ル、生業トシテヤツテ居ル者ハ、先程御説ノ如ク全國ヲ通ジテ二千幾ラカニ過ギナイノデ、他ハ悉ク面白半分ノ紳士ノ樂ミ道具ニナツテ居ルト云フソデ、サウスルト其方面カラ見ルト、何モ狩獵ト云フモノハサウ尊ムベキ程ノ價值ヲ持ッテ居ラストスナラバ、之ヲ嚴禁ニ相成フデモ何等差支ナイ、ソレヲ嚴禁ニナラスシテ、僅ナル税額ヲ以テ今日納メサセテ居ルト云フノハ、量ニ於テマダ餘裕アルモノト御認メニナツテ居ルノデアアルカ、此點ヲ一ツ伺ヒタイ、ソレカラ今一ツ狩獵ノ税金デスガ、税金ハ現行ノ分ハ明治二十八年ヨリ繼續シテ居ルモノデハナイカト思ヒマス、甲種ニ屬スル——一等ニ屬スルモノガ現在四十圓トカ年々拂ッテ居リマスガ、サウスルト二十八年前四十圓ノモノガ、今日百圓ニセラレタカラト云フデモ、先ツ物價ノ關係カラ言フナラバ、上ゲルト云フ意味ニハナツテ居ラス□七年ニ改正シテ居リマス□ト呼フ者アリ□七年ニ改正シテ居リマス□カ、サウスルト其事ハ取消シマス、ソレカラ今一ツ歐米ト日本トノ鳥獸關係ハドウ云フ風ニナツテ居ルカ、私共素人ノ聞ク處ニ依ルト、歐米ハ隨分狩獵ガ盛ニナツテ居ルト承ッテ居ル、歐米ハ左様ニ盛ニ狩獵ト云フモノガ行ハレテ居ル、然ルニ日本ト云フモノハ歐米ニ比較シテ甚ダ少イニ拘ハラズ、爰ニ鳥獸保護ノ爲ニ改正案ヲ要スルト云フコトハ、日本ニ於テ鳥獸ガ少イト云フ意味デアアルカ、又農林業ノ上ニ於テ特殊ノ關係ヲ有スルト云フノデアアルカ、其邊ノ調査ニ付テ伺ッテ見タノデ、ソレカラ私共歐米ノ此狩獵ニ對スル所謂税金、此税金ノ比較ト云フモノガ、日本トドウ云フ風ニナツテ居ルカ、一二課目ニ付テノ比例ヲ一寸伺ッテ見タイト思ヒマス、是ダケヲ先ツ御尋致シマス

○石黒政府委員 只今ノ御尋ニ御答致シマス、日本ニ於テ農林業ノ爲ニ存在ヲ必要トスル鳥獸ノ數ト云フモノガ何等カアツテ、ソレニ現在ノ野生鳥獸ガ足りナイカ、或ハ若シ狩獵法ニ依ッテ狩獵ヲ認メル以上ハ、之ガ餘ツテ居ルト見テ然ルベキデアアルカ、若シ足りナイトスルナラバ、保護ドコロデハナク、全然ハ禁止シナケレバイカナイダラウカト、斯ウ云フ事ニ付テ御意見ノヤウニ伺ヒマシタ、是ハドウモ只今迄ノ調査デハ、ドレダケノ鳥獸ノ存在ガ日本ノ農林業ニ必要デアルト云フ、基礎ノ數字ハ出テ居リマセヌノデゴザイ

イマス、併ナガラ段々現行法ノ制定ノ當時カラ見マシテ、今御話ヲ申上ゲマシタ鳥獸調查事業、來年度カラ又獸類ノ調查事業ト云フコトヲ始メマス、是ハ狩獵稅ヲ上ゲマシタ一部分ノ金ヲ此方面ニ向ケテ研究ヲ致シテ居ルノデアリマス、此等ニ依ッテ見マス、隨分今迄害鳥ト思ハレタモノモ、益鳥デアルト云フヤウニナルノデハナカラウカト云フヤウナ風ニ、研究中デハゴザイマス、思ハレル節モ段々出テ參テ來ルノデゴザイマス、隨テ害鳥ナラバ絕對ニ是ハ捕ッテマツテモ宜イデハナイカト云フ、即チ少クとも其點ニ於テ狩獵ト云フモノガ成立ツノデハナイカト云フ事モ出テ來ルカトモ思ヒマスガ、又一面カラ云フト、即チ狩獵ヲ全體ニ禁止スルト云フコトニ付テ、段々必要ノ程度ガ増シテ來ルト云フ風ニモ思ハレル節モ出テ來ヤウカト思フノデアリマス、ケレドモ、併シ一方從來カラノ古い歴史ヲ持ッテ居ル一ツノ娛樂、及ビ體育ノ方法ト致シマシテ、之ヲ全然禁ジテシマフト云フ譯ニハ、到底行カヌヤウニ思フノデアリマス、ソレヲ適當ノ程度ニ於テ、詰リ農林業ノ爲ニ鳥獸ヲ保護スルト云コト、ソレカラ一方ニ於テ此狩獵ト云フ遊戲運動ノ方法ト云フモノヲ、適當ノ程度ニ於テ調和スルト云フコトノ必要ガアルヤウニ思ッテ居ルノデアリマス、是ハ即チ狩獵法ノ制定ヲ致シマス時ノ根本タル方針デ無クテハナラスカト考ヘルノデアリマス、サウシテ一方カラ申シマス、可ナリ此野生ノ鳥獸ノ肉類ガ、國民ノ食料ノ上ニ供給ヲ致シ居ル所ノ量モ少クナイモノ、ヤウニ思フノデアリマス、人ニ依ッテハ鳥獸ヲ保護スルト云フコトノ必要ヲ、此野生ノ肉類ノ供給ノ方面カラシテ必要ナリト云フコトヲ言フテ居ル人ガアル位デアリマス、此方面ノ事ヲ考ヘテ見ナケレバナラスカト思ヒマス、ソレデアリマス、此等ノ點ヲ適當ニ調和シテ狩獵法ヲ定メタルト云フ必要ガアリマス、直ニ之ヲ嚴禁スルト云フ事モ困難ナ事デハナイカト考ヘマス、併ナガラ全然ハ狩獵トシテモ價值ノ無イモノデアアル、而シテ農林業ノ上カラ言フテ絕對ニ有益デアツテ、害ノ無イ鳥獸デアルト云フモノハ、是ハ何レノ方カラ言フデモ、絕對保護ヲ必要トスルノデアリマス、此等ハ舊法時代ニ於テモ有益鳥獸トシテ、狩獵禁止ノ禁鳥類ニナツテ居リマス、又現行法ニ於テモ、新シイ主義ノ下ニ狩獵鳥獸ヲ定メルト云フノハ、狩獵トシテ多少トモ價值ノアルモノダケヲ決メル、其以外ノモノハ全然狩獵サセヌ、斯ウ云フ主義ニ立ッテ居ルノデアリマス、是ハ絕對禁止ヲヤツテ居ルヤウナ次第デアリマス、尙ホ第二點以下ノ細イ點ニ至リマシテハ、詰リ外國トノ比較ニ付キマシテハ、專門ノ方カラ申上ゲルコトニ致シマス

○岩本委員 モウ既ニ正午ニモナリマスシ、本日ハ先ヅ此

程度ニ止メテ置キマシタ、次會ニハ吾々モ大藏省ノ當局ノ
方ニモ質問ヲ致シテ見タイト思ヒマスルノデ、大藏當局ノ出
席ヲ御要求ヲ願ヒタイ、サウシテ本日ハ是デ散會ヲ願ヒタ
イ

○鈴木委員長代理 ソレデハ一寸御諮リ致シマスガ、岩本、
君ノ御提議ニハ別段御異議ナイヤウデアリマスカラ、サウ
云フコトニ——ソレカラ一寸御斷リシテ置キマスガ、月岡
技師ハ未ダ政府委員ニナッテ居ラレナイノダサウデアリマ
シテ、是ハ便宜上御話ヲ承ッタ方ガ宜ラウト思ッテ居リマス、
御了承ヲ願ヒマス——ソレデハ今日ハ是デ散會致シマス

午後零時六分散會

大正十一年三月二十日印刷

大正十一年三月二十二日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局